

# 第64回

# 紫藤祭

# 紫藤通信



山村国際高等学校第六十四回紫藤祭が、九月五日(土)・六日(日)の二日間にわたって開催された。五日が午後のみ・六日は終日の一般公開となり、天候も心配される中での実施となったが、雨雲を吹き飛ばすような熱気のある発表、工夫を凝らした模擬店など、様々な催しが行われた。

五日の午前中には、生徒のみによるオープニングが催され、最初は書道部によるパフォーマンス書道が行われた。今年のテーマである「笑顔と幸せ双つて

一つ」The Yamakoku Bond」の文字を部員たちがダイナミックに書き上げた。その後も、よさこい部の演舞や吹奏楽部の演奏、バトントワリング部の演技、有志団体による発表が行われ、文化祭の幕開けに華を添えた。

今年の文化祭には、昨年同様、福島県立双葉高校の生徒会の生徒が来校し、後援会の物産展を手伝ったり、ステージ発表を見学したりと、一緒に楽しむことができた。あと二年で休校となってしまう双葉高校。本校生徒会として、できる限りの支援と交流を続けていきたいと思う。

文化祭本祭について、体育館ステージでは、軽音楽部や吹奏楽部の演奏・バトントワリング部やダンス部による演技・よさこい部による演舞・英語総合コースの生徒による英語劇『西遊記』・ファッションデザインコースとライフデザインコース服飾専攻、被服部の生徒によるファッションショーが行われた。どの団体も、個性的な発表で独自の世界観を生み出し、会場全

発行所  
山村国際高等学校  
坂戸市千代田1-2-23  
☎ 049-281-0221

<http://www.yamakura-kokusai.ed.jp>

印刷所  
有限会社 須賀印刷

体に感動を与えていた。校内の展示では、写真部や書道部・イラスト部・華道部などの文化部が、日頃の部活動の成果を思う存分発揮し、芸術的な作品を多く展示していた。各クラスの模擬店では、工夫を凝らして教室を飾り、とても華やかに教室を彩っていた。



●各賞の受賞は次の通り。

**紫藤賞** よさこい部  
**ステージ賞** ファッションショー  
**企画賞** 華道部  
**装飾賞** 三年六組  
**グッドマナー賞** イラスト部  
**ポスター** 関谷 舞衣 (二年二組)

## 螭螂

古典の授業で扱う歴史物語「大鏡」の題材の一つに、若き日の藤原道長の肝試しのエピソードがある。恐ろしさに逃げ帰った道長の兄、道隆と道兼の怯えた様子を見て、時の帝、花山帝は扇を叩いて笑うのであるが、実はこの話には後日談がある。その翌年(あるいは翌月)道長や道兼の父である兼家の陰謀により、花山帝は無理やり出家させられるのだが、その実行犯として帝を騙したのが道兼だったのである。道兼の裏切りを知った花山帝は涙を流して嘆く事になる。馬鹿にして笑った相手と感じたのであろうか。◆

「高転び」という言葉がある。調子に乗って慢心していると、思わぬところから足元をすくわれ、絶頂から一気に転落する意である。これは何時の時代においてもあり得る事だろう。芸能人を始め、個人に限らず組織や企業・団体・国家等でも同様の例は枚挙にいとまがない。浮かれた気持ちで好き勝手なことをしていると、必ずしっぺ返しを受けることになる。油断大敵、一寸先は闇。自戒を込めて。

# 双葉高校 交流

東日本大震災をきっかけに、当時の生徒会が一年かけて行った募金活動に端を発する双葉高校支援は、今年で四年目となった。

双葉高校を支援するために、福島県いわつきの市のサテライト校に学ぶ同校生徒会を、これまで年二度訪問し、募金を直接手渡すなど交流を重ねてきた。継続して支援する学校は本校だけということもあり、生徒会メンバーはお互いに入れ替わりながらも心と心が通じ合うようになってきた。双葉高校から感謝の寄せ書きが本校に届けられたり、昨年今年とともに紫藤祭を共同で行うことができたのは、その現れである。また、双葉高校からは、やはり二年つづけて私学助成の協力を得ることもできた。

今年の紫藤祭共同開催に際して最も喜ばしかったことは、本校生徒会から正式に共同開催を提案する前から、双葉高校生徒会がすでに乗り気であったことだ。七月六日の交流会でお互いに打ち解けることができたこともあり、今年の紫藤祭は、物産販売、巡視、フアッションショーの見学など昨年以上に良い思い出になったにちがいない。双葉高校は、残念ながら現一年生の募集をすでに停止しており、今の二年

生が卒業すると同時に休校となる。心と心でつながり合える間柄になれただけに、とても残念だが、大切な仲間だけに最後の最後まで双葉高校を支援していきたい。



# ステージ

## よさこい部

### 紫藤祭を終えて

よさこい部鳴子連は、部活動としてよさこいに取り組み、全国でも珍しい部活動です。本場高知のよさこいを意識し、部活動と笑顔で踊っています。7月20日に行われた『浦和よさこい』を最後に3年生が引退し、現在は2年生12名、1年生19名の計31名で日々楽しく活動しています。活動内容は、県内各所で行われるお祭りやイベントの参加、また、介護施設などでボランティア活動を行うことです。今年はずでに『所沢よさこい』『浦和よさこい』『越生まつり』などに参加し、たくさんの方々の前で演武を披露してきました。しかし今年は例年と違い、『坂戸よさこい』が8月から10月に日程が変更されたため、参加できなくなっていました。昨年、一昨年と『審査員特別賞』を受賞していた地元のお祭りだけに非常に残念でしたが、その分文化祭に力を入れて練習してきました。そして紫藤祭では最高賞である紫藤賞を頂くことができました。皆さんのおかげで11月に行われる『東松山よさこい』に向け、弾みをつけることができました。応援ありがとうございました。



## フアッションショー

### ご声援ありがとうございました

紫藤祭で定着したフアッションショー。今年からライブデザインコースがスタートした。残念なことに服飾専攻の生徒数が少なく、今年ではと懸念された。そのため早くから計画する事ができなかった。準備不足で前日までパタバタ状態。不安を残しての幕開けであった。いよいよ当日。前年と違い順番が朝一番。出足が心配されたが、早い時間にもかかわらず、多くの皆さんが足を運んでくれた。当日は生徒も堂々と自信をもってステージを務めあげた。長く引き継がれてきたフアッションショー。フアッションデザインコースとしては、今年が最後となった。長い間、多くの皆さんに応援していただき、こまごま成長することが出来ました。陰ながら支えてくれた、先生方始め在校生、そして卒業生、保護者の皆さん、本当にありがとうございました。感謝の一言に尽きます。



# 部活動 活動報告

## ダンス

- ① 全国高等学校ダンスドリル選手権大会2015 HipHop 女子 スモール編成部門第3位
- ② 第8回 日本高校ダンス部選手権 DANCE STADIUM 全国決勝大会出場 17位
- ③ ダンスステージプロジェクト2015 決勝大会 特別賞

① シーズン最初の大会は全国高等学校ダンスドリル選手権大会で、2、3年生計13名が出場した。有明コロシアムで行われた関東予選を第2位で通過し、全国大会出場が決まった。全国大会ではHipHop女子スモール編成部門で3位入賞し、来年3月にアメリカで行われる世界大会へと推薦された。初めての大会で不安要素も多くあったが、過去の大会DVDなどで研究を重ねて、大会に臨んだ。大会会場は予選、有明コロシアム、本選、東京体育館と、参加校も多く大規模な大会であった。また、ルールや審査基準などが他の大会に比べ厳しく苦勞した。一方で競技が始まると、他校の演技を応援し合うといった光景が見られるなど、スポーツマンシップが感じられる大会であり、得るものも大きかった。

② 1年から3年まで全員で取り組んだ作品は「High school musical」の「All for one」という曲を使用し「夏」をイメージした。26名という大人数での大会参加は初めてであり、ダンスを揃えることはもちろんであるが、気持ちを一いつにすることに重きを置いた。8月4日から6日まで行われた第8回日本高校ダンス部選手権DANCE STADIUM 関東・甲信越地区予選において、101チーム中、上位28チームに選ばれ、全国大会への出場を決めた。入賞こそ逃したが、全国226チーム中17位という結果は部員に自信を与えるものとなった。

③ 今季最後の大会になったのが、サンリオピューロランドで行われたダンスステージプロジェクト2015。一次・二次予選を経て本選へと進むにつれ、この作品への集大成としての思いが強まり、優勝を目指して臨んだ。惜しくも優勝は逃したが、特別賞を受賞した。並行して異なる大会が行われる中、夏の体育館での厳しい練習環境において、部員一人一人が技術の向上に取り組んだ。稽古を重ねることにチームとしてもまとまり、一体感を感じられた中で充実した大会シーズンを送ることができた。



## 。。。サッカー部。。。

創部10年目の4月に荻野監督を迎え入れてスタートした本校サッカー部は、5月の高校総体ではシード校を2つ破り県大会へ(2年ぶり4回目)、8月の選手権大会ではシード校として勝ち上がり県大会に出場しました。(2年ぶり2回目) 残念ながら、両大会とも県大会初戦で敗退してしまいました。4月から9月まで行われた高円宮杯U18大会西部2部リーグでは優勝して1年で西部1部リーグへ再昇格を果たしました。

この半年間で生徒達がいろんな事を学び、一生懸命に活動し、心身ともに成長していると日々感じ取れます。また、公式戦の会場まで応援に来ていただいた、教職員の方々やたくさん仲間、そして保護者の方々に感謝の気持ちと尊敬の心を常に忘れず、新チームの更なる成長を期待したい。



## 。。。陸上部。。。

27年度の陸上部は新入生の男女走跳投10名を迎え、春の大会を終えてからは秋・冬の試合に向けた取り組みをしてきました。夏休み中は、女子の長距離のみではありませんが陸上部初の校外合宿を敢行、吉見町の八丁湖で3日間生活を共にし、意識の向上・共有を図りました。

全部員が猛暑の中厳しい練習に耐え、9月に開催された新人戦の西部地区大会では女子1500mと女子3000mで8位以内入賞が3名、女子800mと男子三段跳でも健闘し、男子計5名がその後の新人県大会へと駒を進めました。

新人戦県大会では、女子3000mで坂戸中学校出身の1年生、神藤舞莉奈が全体の15位で、山村国際高校のなかでは最良の結果で大会を終えました。神藤は県大会の出場は春の高校総体以来2度目ですが、今回が初参加の選手たちも慣れない舞台での試合に全力で向かっていきました。出場した本校の選手たちはみな、悔しさだけではなく学校内だけでは得られない経験から様々な思いを感じ取ったことでしょう。

本校の陸上部では、今年度より女子

の駅伝の強化を図り、11月5日に行われる埼玉県高校駅伝での入賞を目標として掲げています。そのため、女子の駅伝部員たちは毎日朝練習を欠かさず学校で行い、頑張っています。特進コースの生徒は放課後講習が週に何度かあり、それらの日は普通コースの生徒と一緒に練習ができません。しかし、彼女たちは決して学業でも手を抜いたりせず、講習や補習にも真面目に取り組み、駅伝部員全員が勉強面での成果も得ようと努力しています。学生の自分は学業であることも自覚しながら、常に競技者としての意識も高い水準で持ち続ける、そんな姿勢が窺えるチームです。



部活動としての歴史や伝統はまだありませんが、山村国際高校の名を背負い11月5日の県駅伝へ挑んでいきます。ご声援よろしく申し上げます。

# ニュージーランド 修学旅行

## 修学旅行引率記

2 学年 鴨志田 修

10月4日からA団が、翌日の5日はB団がニュージーランドに向けて出発した。

約10時間の飛行を経てオークランド空港に着陸。早春の南半球は暖かい日差しがふりそそぎ、気温は日本とさほど変わらないが、時おり吹き抜ける冷たい風に異国に来たことを実感した。

空港からはバスで30分足らずの「オークランドミュージアム」に。事前学習でも調べた『マオリ』の文化に触れた。その地に存在する自然とともに生活していた原住民の数多くの生活用品を目にし、ニュージーランドの歴史を学ぶことができた。現地ガイドからクラスごとに一通りの説明を受けたあとは各自で館内を見学したり、外に出て友人と写真を撮ったりと自由な時間を過ごした。近くのレストランでやや遅めの昼食をとり、一路ホストファミリーとのマッチングポイントへとバスを走らせた。途中トイレ休憩を入れて、遠い所は市内から230キロ離れている。例えるなら、埼玉から新潟市までの移動距離である。ミーティングポイントではお世話になる家庭ごとに名前が呼ばれ、緊張した面持ちでバスから出て来る。こんな時はやはり女子のほうが度胸があり、笑顔で「Nice to meet you」と。3泊4日のファームステイではそれぞれの家庭でうまく話せないなりに身振り手振りで話をしたり、一緒にゲームやスポーツを楽しんだり・・・。5日目の朝バスにもどってきた生徒たちの顔をみると楽しかった様子がはっきりと伝わってきた。ファームステイにはホテル泊では絶対に味わうことができない良さがある。すべてやってもらう“客”ではなく、家族の一員として生活する所にこの魅力がある。自ら実際に生活を体験することで文化・価値観の違いを感じ、日本文化に対する理解が深まった生徒も多いのではないだろうか。また、広大な自然の風景を目にし、自然の大切さを意識するようになった生徒もいるだろう。3泊のステイの中でファミリーも生徒を理解しようと努め、生徒も戸惑いながらもファミリーに合わせようとする。互いに歩み寄るところに相手を尊重する気持ちもうまれ、楽しく過ごすことができるのではないだろうか。街中では決してみることでできない満天の星空を深夜まで眺めているというのもここニュージーランドだからできることなのである。ぜひこの経験をこれからの生活に活かしてほしい。旅行団はその後「羊の毛刈りショー」を見学し、翌日市内に戻り半日自主研修。7日目の早朝にオークランド空港を後にして無事帰国の途に着いた。

### 修学旅行 行程表

■機中1泊/ファーム3泊/ホテル2泊

日時	月/日 (曜)	行 程	宿 泊
1	10/04 (日) 10/05 (月)	A団5,6,7,8組 貸切バス 若葉駅付近 成田空港 →→→→→→→→→→ 【NZ90便】 →→→→→→→→→→ (12:00) (16:00) (18:30) ニュージーランド航空	[機中泊]
2	10/05 (月) 10/06 (火)	→→→→→→ オークランド空港 *クラス写真 AKLミュージアム *昼食 市内レストラン マッチングポイント・・・各家庭へ (9:20) (10:45) (11:45~13:30) (13:45~14:45) (17:00~17:30)	
3	10/06 (火) 10/07 (水)	～ケンブリッジを中心とした地区にてファームステイ～ *酪農体験、フィッシング、ファミリーと買い物、馬やペットの世話などなど	[ケンブリッジ周辺] ファームステイ
4	10/07 (水) 10/08 (木)	～ケンブリッジを中心とした地区にてファームステイ～ *酪農体験、フィッシング、ファミリーと買い物、馬やペットの世話などなど	
5	10/08 (木) 10/09 (金)	*ショートスタート 11:00/クラス写真 *クラス写真 *クラス写真 *クラス写真 ファーム アグロドーム (羊ショー) スカイラインで食事 ロトリア湖・・・ガバメントガーデン スーパーマーケット ホテル (9:00) (10:15~11:50) (12:15~13:45) (14:00~14:30) (14:40~15:10) (15:30~16:15) (16:30)	[ロトリア] ホリディン ロトリア
6	10/09 (金) 10/10 (土)	(昼食は各自にて) ホテル OKギフトショップ前にて解散…………… オークランド市内研修……………集合……………市内レストラン ホテル (8:45) (12:30) (17:30) (17:45~18:45) (19:30)	[オークランド] スティマ ホテル エアポート
7	10/10 (土) 10/11 (日)	ホテル オークランド空港 →→→→→→→→→→ 【NZ99便】 →→→→→→→→→→ 成田空港第一ターミナル (希望者のみ) 川越駅・坂戸駅 (7:00) (9:40頃) (16:50頃)	

# 体験学習

本年度の体験学習・体験部活は、夏休みの中学生全学年を対象に、八月二十日（木）、二十一日（金）の2日間行われた。講座は英語部、剣道部、よさこい部、福祉部、調理部マジック研究部、生物部、バトントワリング部、野球部が内容を凝らし実施された。

各講座、各部活では最初緊張していた中学生も担当の先生や高校生とのやり取りの中で緊張もほぐれ、興味を持って取り組んだり、また真剣な姿を見ることができた。中には英会話やマジック講座を親子で楽しく取り組んだ人もいた。

来年度に向けて多くの中学生に参加してもらい山村国際に興味を持ってもらえる講座を計画しているところだ。



## 保健室だより

今回はやけどについてのお話しです。

やけどは熱いものに触れたり、薬品が皮膚に付着しておこりますが、保健室では授業中のやけどより、ヘアアイロンによるやけどで来る人が多いです。

やけどの部位で一番多いのが耳。次が腕や太ももにアイロンを落としてしまったというもの。残りはおでこや頬です。

やけどは見た目と違って皮膚の深い部分まで損傷している場合が多く、感染しやすい状態になっています。

やけどをしてしまったらまず冷やします。流水で20分くらい冷やすと効果的と言われています。その後、消毒をして傷の保護と殺菌効果がある軟膏を塗り、滅菌のガーゼを当てます。このときのガーゼは必ず滅菌されたものを使いましょう。

また、水ぶくれができたときに、割ってしまうという人がいますが、やけどの水疱はなるべく破らないようにします。破ると細菌に感染しやすくなります。

保健室に来たときに、きちんと処置できている人はいません。家でどういう処置をしたのか聞くと「ちよっと冷やした。」と答えます。冷やしただけ？と聞くと「時間がなかったから。遅刻しちゃう。」と答えます。

先ほども述べましたが、やけどは思っている以上に皮膚の損傷が深く、痕も残りやすいです。とくにヘアアイロンでの傷は顔など、痕が残ったら目立つ部位が多いので、その処置は重要です。医師の診察が必要な場合もあります。

遅刻をしてしまうからと、必要な処置をおろそかにして、やけどの痕が一生残ってしまったら取り返しがつきません。

また、保健室は学校で起こったケガに対する救急処置を行うところです。遅刻をしそうだったからとりあえず来て、保健室で手当を受けるのは間違っています。何より、髪のは加工は校則で禁止されているはずだ。

心配そうに「痕に残る？」と何度も聞かれますが、その後の感染や個人の治療能力に差があるため、予後については何とも言えません。ただ、傷を見ながら「ちよっと髪型を決めたかっただけだったのでしょくに、それが一生残る痕にならないといいなあ」といつも思っています。

## 事務室だより

平井 敦嗣

事務室の業務は教育環境の整備と、一般の会社にとえると総務部にあたる仕事が多くなるものです。

最近、「生徒が安心して勉学、部活に励める」ことを目標とする「就学支援金」「奨学のための給付金」という補助金がふえ、毎日業務に頑張っているところです。

現在事務室では、皆さまに今までご提出頂きました「授業料軽減」「就学支援金」「奨学のための給付金」について国及び県に提出し、結果を待っている状態です。

保護者の皆さまは、この3点の給付金申請について、「きちんと提出したか確認したい」、「以前出し忘れてしまったから今から提出をしたい」、もしくは「家計の急変があった」などについてご連絡頂ければ早急に対応致しますのでお気軽に事務室までお電話ください。

順調に処理が完了し、県から補助金が出ましたら、初回申請の方へは、来年2月に現在の授業料振込口座に振込処理をさせて頂く予定です。こちらにも変更等ありましたら、早めにお知らせくださいますようお願い致します。